



第 82 回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会



専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日 時：2025 年 3 月 2 日（日）8：50 ～ 17：00（受付開始 8：30～）

会 場：国立障害者リハビリテーションセンター 本館講堂

〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4 丁目 1 番地

会 長： 尼子 雅敏（防衛医科大学校病院 リハビリテーション部 教授）



交通アクセス

西武新宿線「航空公園」「新所沢」駅下車

徒歩 15 分

西武新宿線「所沢」駅下車 タクシー 10 分

事務局： 防衛医科大学校病院 リハビリテーション部

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3 丁目 2 番地

TEL：04-2995-1896（リハビリテーション部直通） FAX：04-2996-5223

ごあいさつ

この度、2025年3月2日（日）に、第82回日本リハビリテーション医学会関東地方会を、埼玉県所沢市の防衛医科大学校のお隣にあります、国立障害者リハビリテーションセンター本館 講堂にて開催させていただきます。伝統ある関東地方会を主催させていただきますことを大変光栄に存じます。医局員、同門が一丸となって準備を進めております。新型コロナウイルスの蔓延もようやく収めてきましたので、現地開催を計画しております。会場で会員の先生方とお会いしてディスカッションできることを楽しみにしております。

生涯教育研修会では、3つの教育研修講演をお願いしております。

講演1では、自衛隊札幌病院長で 陸将 川口雅久先生に「時間軸から見た災害医療～リハビリテーション医療の役割」のテーマで、自衛隊衛生行政に長年従事されたご経験から、災害医療や国際貢献活動におけるリハビリテーション医療の役割についてご講演いただきます。

講演2では、埼玉医科大学総合医療センター 脳神経内科教授 海田賢一先生に「免疫性ニューロパチーの治療と管理～ギラン・バレー症候群とCIDP」のご講演をいただきます。海田先生はギラン・バレー症候群の第一人者で、病態とリハビリテーション治療について解説いただきます。

講演3では、音楽家医学の第一人者で日本演奏芸術家医学研究会の代表理事の酒井直隆先生に「音楽家医学とリハビリテーション医療」についてご講演いただきます。音楽家にまつわる運動器の諸問題とリハビリテーション医療について詳しくお話しいたします。

実りある学術集会になりますよう、部員一同、企画・運営に鋭意努力する所存です。

年度末で、お忙しいことと存じますが、本会へのご参加とご発表を心よりお待ちしております。

第82回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会

会長 尼子 雅敏

防衛医科大学校病院リハビリテーション部 教授

開催概要

○参加費等

- ・ 地方会参加費 医師 3,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、学生 無料
- ・ 日本リハビリテーション医学会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会 1 講演 1,000 円
- ・ 日本整形外科学会 教育研修講演 1 講演 1,000 円
- ・ 日本手外科学会 教育研修講演 1 講演 1,000 円

○単位認定

・ 地方会参加

日本専門医機構専門医は 1 単位(筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位)

臨床認定医は 10 単位

認定臨床医受験資格要件：認定臨床医の認定に関する内規第 2 条 2 項 2 号に定める指定
の教育研修会（必須以外）に該当します。

・ 生涯教育研修会

日本専門医機構リハビリテーション専門医 1 講演 1 単位(1 日 3 単位まで)

日本整形外科学会教育研修講演 60 分 1 演題 1 単位

日本手外科学会教育研修講演 1 講演 1 単位

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従って
ください。利益相反がない場合もスライドで表示してください。

参加者の皆様へ

1. 事前参加登録について

下の学会ホームページの「参加のご案内」ボタンから登録画面にお進みいただき、必要事項を入力の後、フォームを送信してお申し込みください（専門医・臨床認定生涯教育研修会に参加される方は、事前参加登録と合わせてお申し込みください）

参加当日の受付は行いませんので、必ず事前登録をお申し込みください。

<http://jarm82kanto.kenkyuukai.jp/>

申し込み締め切りは 2025 年 2 月 28 日とさせていただきます。



2.大会当日について

プログラムは当日配布しませんので、必ずご持参ください。

受付にて参加確認と受講証明書をお渡しします。

会場周辺にはコンビニエンス・ストアや飲食店（徒歩約 10 分）がございます。また、数量に限りがございますが、無料で軽食と飲み物をご用意しております。

3.専門医・認定臨床医生涯教育研修会の受講証明証は、当日講演終了時ごとに参加カードと引き換えでお渡しいたします。確認できない場合は受講単位が認定されない場合がありますのでご注意ください。学術集会参加単位と教育研修受講単位は事務局から日本リハビリテーション医学会へ申請いたします。

一般演題ご発表の先生方へ

1.発表方法

- (1)発表時間は 5 分、質疑応答は 2 分です。発表時間は厳守してください。
- (2)発表は PC を使います。会場演者 PC は Windows/PowerPoint 2019 を予定しています。
- (3)発表データは、USB メモリ等にてお持ち込みください。（タブレット端末やノート PC お持ち込みによる発表は基本的にはできませんが、事情がある場合は事前に事務局にお問い合わせください。）
- (4)発表時は COI 開示のスライドをご提示ください。
- (5)発表の順番が近づきましたら、次演者席、次々演者席にて待機してください。

2.講演セッション開始 30 分前までに PC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。

3.USB メモリのお持ち込みに関する注意事項

- (1)ウイルスチェックは最新の定義ファイルを用いて行ってください。
- (2)PPT ファイル名は「演題番号_演題者名_pptx」にしてください。
- (3)フォントは OS 標準のもののみをご使用ください。
- (4)スライドサイズは標準（16：9）で作成ください。

4.抄録原稿の作成について

日本リハビリテーション医学会誌「Jpn J Rehabil Med」掲載用の抄録原稿「演題名、演者所属、抄録（本文 400 字以内）」を作成し、デジタルデータとして当日、発表データと合わせてご提出ください。

5.お預かりしたデータは、終了後、責任を持って消去いたします。

第 82 回日本リハビリテーション医学会 関東地方会学術集会 プログラム

○発表者

発表時間 5 分、質疑応答 2 分

【一般演題：第 1 部】 9:00 ～ 10:11

座長：田村 吏沙（防衛医科大学校病院 外傷熱傷事態対処センター

リハビリテーション部門 部門長/リハビリテーション部 准教授）

1. 下肢壊死性筋膜炎に対しリハビリテーション治療を施行した 1 例

防衛医科大学校病院リハビリテーション部

○古屋真里 豊留有希 倉橋利佳 杭ノ瀬真理 中村洋介 田村吏沙
尼子雅敏

2. 胸髄損傷患者の肩関節痛、関節可動域制限に対し、フロスバンドを用いたアプローチが奏功した一例

国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション科¹⁾

国立障害者リハビリテーションセンター病院整形外科²⁾

防衛医科大学校病院リハビリテーション部³⁾

○倉橋利佳^{1) 3)} 佐藤竜一郎²⁾ 近藤怜子²⁾ 大熊雄祐²⁾ 仲村一郎²⁾
尼子 雅敏³⁾

3. 終末期医療における画像診断の適応に関する考察～症例報告～

防衛医科大学校病院リハビリテーション部

○帰山祥 田村吏沙 倉橋利佳 杭ノ瀬真理 古屋真里 中村洋介 豊留有希
尼子雅敏

4. 皮膚筋炎を契機に増悪したリンパ浮腫の一例

国立病院機構埼玉病院リハビリテーション科

○秋山志野 村岡香織 杉山 瑤 櫛田 幸 上田智之 松永洋一 脇坂波璃男
辻 哲也

5. 嚥下障害を呈した多発筋炎・皮膚筋炎症例の検討

昭和大学医学部リハビリテーション医学講座

○西田 悠 笠井史人 永井隆士 星瑛里子 小島大和 川手信行

6. 顔面神経麻痺に対するデジタルフォースゲージを用いた口輪筋筋力測定を試み

東海大学医学部附属病院リハビリテーション科学

○阿部夢叶 笠原 隆 水野勝広

7. 大腿骨近位部骨折患者における入院時の栄養状態と転倒リスクの関係について

帝京大学医学部附属溝口病院整形外科¹⁾

帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション科²⁾

○山田敦久¹⁾ 小畑知博²⁾ 原 元彦²⁾ 安井哲郎¹⁾

8. 関節リウマチ・全身性エリテマトーデスに合併した大腿切断の1例

神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科¹⁾

神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション部²⁾

○織間良介¹⁾ 横山 修¹⁾ 高内裕史¹⁾ 山上大亮¹⁾ 清野 瞳²⁾ 内田侑花²⁾
高橋大樹²⁾ 尾崎雄飛²⁾

9. 大理石病に合併した左大腿骨骨幹部骨折と左橈骨骨幹部骨折の一例

昭和大学医学部リハビリテーション医学講座¹⁾

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院²⁾

○山内智喜^{1) 2)} 正岡智和^{1) 2)} 小林崇久¹⁾ 武藤祐汰¹⁾ 澤 良輔¹⁾ 屋城俊洋¹⁾
岩屋 毅¹⁾ 杉山みづき¹⁾ 川手信行¹⁾

【一般演題：第2部】 10：15 ～ 11：26

座長：藤本 幹雄 (埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション科 講師)

10. 辺縁系脳炎により発症した神経梅毒患者に対しリハビリテーション治療を行った一症例

東邦大学医療センター大森病院リハビリテーション科

○石田勇人 鈴木亨尚 安島和斗存 伊豆蔵英明 大国生幸

11. 若年女性の中枢性ループスと脳膿瘍に対して長期リハビリテーションを実施した一例

獨協医科大学リハビリテーション科

○川澄沙帆 中村智之 春田侑亮 星合 宗 廣田美槻 入澤 寛 美津島隆

12. ギラン・バレー症候群による上肢筋力低下に対して反復末梢磁気刺激(rPMS)を施行した1例

日本大学医学部附属板橋病院リハビリテーション科¹⁾

苑田会ニューロリハビリテーション病院リハビリテーション科²⁾

○中尾 航¹⁾ 高橋なるみ²⁾ 深澤高広¹⁾ 深谷 親¹⁾ 山本隆充²⁾ 新見昌央¹⁾

13. サイトメガロ・EB ウイルス初感染によるギランバレー症候群のリハビリテーション経過

埼玉県総合リハビリテーションセンター

○鴨下海太 堀 匠 今井由里恵 中原光三郎

14. 頭頂葉白質病変により歩行失行が生じ、視覚的 cueing を中心としたリハビリテーションにて改善をみた一例

東京 D タワーホスピタル脳神経外科

○岸田悠吾

15. 回復期リハビリテーション病棟入院中にボツリヌス療法を施行し歩行改善が得られた3例

昭和大学医学部リハビリテーション医学講座¹⁾

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院²⁾

医療法人社団輝生会成城リハビリテーション病院³⁾

医療法人社団成仁会 市ヶ尾病院リハビリテーション科⁴⁾

○深澤美葉^{1) 2)} 小林崇久^{1) 3)} 澤 良輔¹⁾ 岩屋 毅¹⁾ 杉山みづき¹⁾

飯島伸介⁴⁾ 川手信行¹⁾

16. 食餌性ボツリヌス症に罹患した親子二症例のリハビリテーション治療経過

関東労災病院リハビリテーション科¹⁾

昭和大学病院リハビリテーション科²⁾

○木村千晶¹⁾ 五十嵐祐嗣¹⁾ 笠井史人²⁾

17. 大腿骨頸部骨折における人工骨頭挿入術の待機時間が回復期リハビリテーション病棟入棟後早期の運動器 FIM 利得に与える影響

行徳総合病院リハビリテーション科

○深井敦大 御子神由紀子

18. 高原骨折症例における免荷期間が、FIM に与える影響

原宿リハビリテーション病院リハビリテーション科

○西川 恵 松尾勇志 永野晴子 江田舞羽 千田泰輝 山岸拓哉也 渋谷一行

【一般演題：第3部】 11:30 ～ 12:49

座長：甘井 努 (医療法人若葉会 若葉病院 院長)

19. 交通外傷により特徴的な言語障害・高次脳機能障害を呈した大学生への復学支援の経験

(株)日立製作所 ひたちなか総合病院リハビリテーション科¹⁾
筑波大学医学医療系リハビリテーション医学²⁾
○池田祥尚¹⁾ 海老原一彰¹⁾ 清水如代²⁾ 羽田康司²⁾

20. 脳卒中後痙縮を呈した生活期の若年患者に対する当科での診療経験

国立病院機構埼玉病院リハビリテーション科¹⁾
慶応義塾大学病院リハビリテーション科²⁾
○脇坂波璃男¹⁾ 村岡香織¹⁾ 秋山志野¹⁾ 松永洋一¹⁾ 上田智之¹⁾
櫛田 幸¹⁾ 杉山 瑤¹⁾ 辻 哲也²⁾

21. 注意障害が残存しOE法、バルーン拡張法に難渋したWallenberg症候群の一例

悠遊健康村病院リハビリテーション科¹⁾
湖山リハビリテーション病院リハビリテーション科²⁾
○伊藤尚希¹⁾ 殷 祥洙²⁾ 立川 浩¹⁾ 大野秀子¹⁾ 川嶋 薫¹⁾

22. 他職種連携により最終的に実用歩行獲得に至った下腿切断の一例

新潟リハビリテーション病院リハビリテーション科¹⁾
新潟リハビリテーション病院リハビリテーション脳神経科²⁾
○竹田盛悟 小股 整 眞田菜緒 斎藤太希 佐藤正久²⁾

23. 回復期病棟の薬剤性横紋筋融解症の2症例

医療法人社団日高会 日高病院リハビリテーション科
○坐間 朗 中島慶子 中村美香

24. レジャースポーツ復帰を希望する心疾患患者に対する外来心臓リハビリテーションの経験

国立病院機構 埼玉病院リハビリテーション科¹⁾

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室²⁾

○松永洋一¹⁾ 村岡香織¹⁾ 秋山志野¹⁾ 脇坂波璃男¹⁾ 上田智之¹⁾

櫛田 幸¹⁾ 杉山 瑤¹⁾ 辻 哲也²⁾

25. 訪問診療におけるリハビリテーション医療の試み

凧クリニック

○金丸詩門

26. スマートフォンで行うタスクの難易度が頸部伸展モーメントに与える影響について

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部¹⁾

群馬大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学²⁾

○有井大典¹⁾ 田澤昌之²⁾ 伊部洋子²⁾ 中雄裕美子¹⁾ 外山里沙¹⁾

宮下啓介¹⁾ 和田直樹²⁾

27. B OWhunter 症候群による小脳梗塞により学習障害を来した一例

埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科

○笹川麻由 藤本幹雄 新名 啓 栗原寛幸 大林 茂

28. 高次脳機能障害で発症した twig-like middle cerebral artery に対して STA-MCA double bypass を施行して改善した一例

埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科

○新名 啓 藤本幹雄 栗原寛幸 笹川麻由 大林 茂

専門医・認定臨床医生涯教育研修会《関東地方会》

I.リハビリテーション医学会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

○研修区分：講演 1. 関連領域—総論 大区分（2）主分類（1）

講演 2. 関連領域—神経筋疾患 大区分（2）主分類（9）

講演 3. 関連領域—骨関節疾患 大区分（2）主分類（7）

○認定単位：認定臨床医：1 講演 10 単位

リハビリテーション科専門医：1 講演 1 単位

II.整形外科学会 教育研修講演

○研修区分：講演 1. 専門医単位 2：外傷性疾患（スポーツ障害を含む）

13：リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）

認定医単位 Re：リハビリテーション

講演 3. 専門医単位 10：手関節・手疾患（外傷を含む）

13：リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）

認定医単位 Re：リハビリテーション

○認定単位：60 分 1 演題 1 単位

III.日本手外科学会 教育研修講演

○研修区分：講演 3

○認定単位：1 講演 1 単位

受講費：1 講演ごとに 1,000 円

認定臨床医受験資格要件：認定臨床医の認定に関する内規第 2 条 2 項 2 号に定める指定の教育研修会(必須以外)に該当します。

【教育講演 1】 13：30～14：30

座長：中島 英樹(東京都立病院機構 東京都立豊島病院 リハビリテーション部 部長)

「時間軸から見た災害医療～リハビリテーション医療の役割」

自衛隊札幌病院 病院長 陸将

川口 雅久 先生

【教育講演 2】 14：40～15：40

座長：岡田 恒夫（茨城県厚生農業協同組合連合会 土浦協同病院
リハビリテーション科 部長）

「免疫性ニューロパチーの治療と管理～ギラン・バレー症候群と CIDP」

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経内科 教授
海田 賢一 先生

【教育講演 3】 15：50～16：50

座長：尼子 雅敏（防衛医科大学校病院 リハビリテーション部 教授）

「音楽家医学とリハビリテーション医療」

医療法人社団アーツメディック さかい整形外科 理事長 院長
酒井 直隆 先生